

解答

問一 何かを学ぶとき、あくまで人から習うのではなく、自分で見て考え、自分でできたのだという思考で生きているから。

問二 オ

問三 子どもたちはただ紙で工作をしたいだけであり、目の前の人間に教わったとか一緒に遊んだという認識はないから。

問四 自分で見て考えて覚えることができる分野と、一定の教課程をふんで教師に教わる方式のほうが能率的な分野があり、教師に教わる方式が向いているのがエスキモーだったから。

問一 エ

問二 災害当時の様子を聞きたかったのに、知っているはずのおばあさんが何も見ていないと言うので途方に暮れたから。

問三 犠牲者や遺族の悲しみや苦しみを考えると言葉を失い、安易で軽率な態度をとることをはばかられているということ。

問四 自分が亡くなったときの状況や、死後に残された家族や身内の様子がわからなかったため、それを少しでも知りたかったから。

問五 被災者に対して自分ができることは何もないと思っていたが、本当に何もできないのは犠牲になった人だと気づき、その無念さを改めて認識したから。

問六 旅人が災害の犠牲者の遺志を継ぎ、風化させないように努めていかなければならないと決心したこと。

菜の花や 月は東に日は西に